

まし け 増毛町

いにしへの建物と街並みに、
美食家も注目の食の宝庫



歴史ある建物たち

江戸時代に漁場が開かれ、道北では最も古い歴史を誇る増毛町。当時はニシンの千石場所とも呼ばれ、活気に満ちていた。巨額の財を成した網元や商人たちは、その稼ぎを惜しみなく蔵や屋敷などの建設につぎ込んだ。

20年かけて建てた町家様式の豪華な建物だ。また、その本間家が始めたのが酒蔵・国稀酒造。こちらも店舗や蔵が当時の姿で残っている。

他にも木造3階建ての旧富田屋旅館、現在観光案内所として活用されている旧多田商店などがある。さらに、今なお現役で頑張っている建物もある。駅前旅館として1932年に建てられた増毛館。現在のオーナーがリノベーションをして、ドミトリ形式のゲストハウス民宿として運営している。一人旅やライダーなどに人気の宿だ。また、駅前通りを離れた場所にも、歴史的建造物はある。その一つが、旧増毛小学校だ。現存する木造校舎としては道内最大規模の大型校舎。ニシン漁の網元たちも寄付をして建てられた校舎は、2012年まで現役で使用されていた。トラス工法と呼ばれる木組みでできた体育館の天井は、組まれた木材の



眺めが芸術的でさえある。普段は中に入れないが、イベント時には内部を限定公開している。

ユニークなところでは、復元された増毛駅の駅舎がある。増毛〜留萌間の鉄道は大正時代に開通。同路線は2016年に廃線となったが、その後開通当時の駅舎に復元され、2018年に公開された。まだ新しいが、昔の姿を見せた新たな観光スポットとして、今では観光を中心としたまちづくりの拠点になっている。



増毛郡総鎮守 厳島神社

海の仕事には危険が伴い、時化で不漁になることもある。無事を願い、豊漁を望み、人々は神仏に祈りを捧げたことだろう。増毛郡総鎮守 厳島神社は、1700年代に松前の商人、村山伝兵衛が弁財社を祭ったのが始まりとされる。その後移転を経て、1901年に現在の総樺造の本殿が完成。本殿前面には獅子・鳳凰など77面の彫刻が施され、ぐるりと一周して眺めることができる。拜殿内の天井には花鳥風月や雲龍の日本画が彩られ、さらに江戸時代後期の奉納絵馬や参道の燈籠など、貴重な宝物が随所にある。2018年に本殿一棟と奉納絵馬額7点が北海道有形文化財に指定された。



古い建物が立ち並ぶ増毛町の駅前通りは、タイムトリップ気分が味わえる。ここは幕末の探検家にして地誌学者・松浦武四郎も立ち寄ったことのある、歴史あるまちだ。江戸時代からニシン漁で栄え、北方警備のために陣屋が開かれるなど、歴史好きには興味深い話が尽きない。

また、エビやタコ、ホタテなどの海の幸、リンゴ、サクランボなどの山の幸に恵まれた食の宝庫でもある。そして、歴史ある酒蔵・国稀酒造。旨い食べ物に酒があれば、そこは天国だ。ちなみにフランスの三ツ星レストランで修業したフランス料理の大家・三國清三氏は同町の出身だ。彼の美食の原点は、この町にあるのかもしれない。



増毛町キャラクター
マーシーくん



増毛灯台

旧富田屋旅館

思い出に フォトスポット

旧富田屋旅館は、昭和8年建築の三階建ての駅前旅館。映画「魚影の群れ」の撮影にも使われている。増毛灯台は増毛駅裏の高台に建ち、増毛港や留萌方面を一望できる。駅舎との組み合わせは珍しい。



岩尾温泉
あったま〜る

増毛町の南の玄関口にある、単純酸性泉の温泉入浴施設。波の音に包まれながら日本海の絶景を楽しめる。露天風呂は必見。とりわけ日没時の眺めが素晴らしい。湯の効能は皮膚病やリウマチなど。

増毛町営 岩尾温泉あったま〜る
増毛町岩老109-1 TEL 0164-55-2024

温泉に 寄つてこ

暑寒別岳



標高1492m。暑寒別天売焼尻国定公園の中心となる増毛山地の主峰。6月中旬から10月上旬まで中級者向けの登山が楽しめる。花の百名山にも選ばれている貴重な高山植物の観賞スポットでもある。

増毛町暑寒沢
TEL 0164-53-3332(商工観光課)

雄冬岬展望台



かつて「陸の孤島」と呼ばれた雄冬地区にある。標高135mにある360度パノラマの展望台。晴天時は、積丹半島や天売島まで見渡せる。(冬期閉鎖)

増毛町雄冬
TEL 0164-53-3332(商工観光課)

増毛リバーサイドパーク



総天然芝公園で、テニスコートやサッカーもできる多目的コート、プレーするパークゴルフ場やオートキャンプ場などの施設も充実。

増毛町別荘459 TEL 0164-53-1385
※冬期間連絡先は0164-53-3332(商工観光課)

※▲はキャンプ場又はテントを張れる場所です。

ぐるめ食品 増毛駅直売店 持ち帰り

増毛町弁天町1丁目 ☎0120-82-4106
9:00~17:00(土日祝は16:00) 年末年始休

モ〜一族のうしだや増毛店 店内飲食

増毛町弁天町1丁目 TEL.0164-56-1814
17:00~23:00 火曜休

鮨-IZAKAYA忠 店内飲食

増毛町稲葉町1丁目 TEL.0164-53-3289
11:00~21:00 不定休

鮨・お食事処 福よし 店内飲食

増毛町永寿町2丁目 TEL.0164-53-1190
11:00~21:30 不定休

はますい株式会社 冷凍パック販売

増毛町別荘417-1 TEL.0164-53-9410
10:00~16:00 不定休



寿し忠 店内飲食

増毛町弁天町1丁目
TEL.0164-53-2690
11:00~20:00 不定休

寿しのまつくら 店内飲食

増毛町弁天町1丁目
TEL.0164-53-2446
11:00~19:00 不定休

すが宗 持ち帰り

増毛町稲葉町1丁目
TEL.0164-53-3540
8:00~17:00 不定休

海の幸が豊富な増毛で、スナック感覚で味わえるのが「タコザンギ」。北海道グルメである「ザンギ」に、鶏ではなくタコを使っている。プリプリした食感のタコに、ザンギの味付けはビールが進みそう。価格も手ごろなので、ちょっと小腹がすいたときでも手を出しやすい。
町内のいろいろな飲食店でそれぞれ独自のタコザンギを提供している。店によっては、テイクアウトもできる。揚げたての熱々を頬張りながら、ぶらぶら町中を散策するのもいいだろう。気取らず食へたい、増毛グルメだ。

果樹園



果樹栽培地域としては日本最北、約40の果樹園がある。サクランボやブドウ、洋梨、リンゴなどが栽培され、果物狩りが楽しめる。



1882年創業の日本最北の酒蔵。暑寒別岳の伏流水で仕込んだ酒は、日本酒ファンからも評価が高い。

イベント情報

5月下旬 増毛春の味まつり ~地酒に甘エビ、タコ、ホタテ!~
歴史通りを2日間歩行者天国にして飲食屋台などが並ぶ増毛町最大のイベント。

7月中旬 増毛敵島神社例大祭
御輿行列などが町内を巡回。神社付近では露天が並ぶ。

7月下旬 増毛港まつり
増毛港を会場に、至近距離で上がる花火大会やビアパーティー。

9月下旬 増毛秋の味まつり ~ホタテもサケもフルーツも!~
増毛の海の幸・山の幸が勢揃いする、アトラクションも充実の味覚イベント。

2月中旬 暑寒別岳スキー場フェス
ジャンプ滑り台や雪玉当てゲームなど、小さい子供も楽しめる真冬のイベント。

増毛のおみやげ

中花まんじゅう

小豆の皮をむいて作る、こだわりのごし餡を使用した「中花まんじゅう」。上品な味わいが大人気で、遠方からのファンも多い。

中村屋製菓
増毛町南永寿町1丁目 TEL 0164-53-2321

暑寒最中

暑寒別岳を模した、白餡の入った最中。他にも、サブレ「増毛旅情」や、「暑寒別岳」など、地元になんだお菓子を製造している。

山崎菓子店
増毛町稲葉町2丁目 TEL 0164-53-2303

甘海老味噌ラーメン

増毛港に水揚げされた甘えびの頭のみを臼でストし、香ばしい味に仕上がっている。麺は産産小麦を使用。

麺屋田中商店
増毛町稲葉町1 TEL 0164-53-3680

かずのごぼん

ニジシ漁で採れた増毛ならではの味。パンの中にたっぷり入った数の子のプチプチした食感にマヨネーズとかつお節の味付けがよく合う。

スキャンピン
増毛町島中町3丁目 TEL 0164-53-3935

コレクション!!

増毛シードル (甘口・中辛・辛口)

厳選された増毛産のりんごを皮ごとつぶして作るスパークリングワイン。天然発酵で仕上げ、香料、着色料、砂糖なども一切不使用。

増毛フルーツワイナリー
増毛町暑寒沢184-2 TEL 0164-53-1668

トマトジュース

フルーツマトをまるごと搾ったジュース。トマトが苦手な方でも美味しく飲める。歴史通りにある「ふるふるトマト」店舗で販売。

古村農園
増毛町善別 TEL 090-9759-2145

国稀

店舗の試飲コーナーでは販売している酒類の全種類の試飲が可能。蔵元限定や季節のお酒などの種類も豊富。

国稀酒造
増毛町稲葉町1丁目
TEL 0164-53-9355(売店直通)

りんご果汁

増毛のりんごを使った100%ジュース。濃厚な甘みで舌触りなめらか。各果樹園でも個性的なりんごやブドウ、洋梨のジュースを製造している。

増毛町農産加工組合
増毛町南島中町5 TEL 0164-53-2027



絶対食でこま まっけいばなな!